

諸外国における医薬品販売制度

	医薬品等分類	販売業態	薬剤師等の配置	販売方法(情報提供等)	分類の考え方等	各分類における具体的薬効群名等
アメリカ (アラバマ州)	処方せん医薬品	薬局	薬剤師の常時配置	薬剤師による対面販売	-	-
	非処方せん医薬品	一般小売店	-	-	処方せん医薬品から非処方せん医薬品への移行は、十分な使用経験、自己使用が可能かどうか等が要件となる。	解熱鎮痛薬、鎮咳薬、かぜ薬、胃腸薬、止瀉薬、制吐薬、抗アレルギー薬、喘息薬、睡眠薬、目薬、皮膚治療薬、禁煙補助剤など
イギリス	処方せん医薬品	薬局	薬剤師の常時配置、 薬剤技師、 調剤助手、 薬局助手(カウンター アシスタント)	薬剤師又は薬剤師の監督下での薬剤技師による対面販売	-	治療域の狭い医薬品、新医薬品その他の安全性が確立されていない医薬品など
	薬局販売医薬品			薬剤師又は薬局助手による対面販売(購入者が妊婦等の場合は薬剤師の対面販売)	一定の安全性が確立されているが、作用、包装量からみて、薬剤師が販売を監督する必要があるもの	解熱鎮痛薬など
	自由販売医薬品	一般小売店	-	-	安全性が広範に確立されており、薬剤師が販売を監督する必要がないもの	少包装の解熱鎮痛剤、鎮咳薬、胃腸薬、禁煙補助剤、消毒薬、のど飴など
フランス	処方せん医薬品	薬局	薬剤師の常時配置(また、販売額に応じた配置も必要)、調剤助手	薬剤師による対面販売	-	-
	処方せん任意医薬品			薬剤師による対面販売(医薬品の交付は調剤助手も行う)	良性の初期症状を処置することを目的としたもの	うち医療保険償還のないものが一般用医薬品に近く、解熱鎮痛薬、鎮咳薬、かぜ薬、胃腸薬、皮膚治療薬、ビタミン・ミネラル、禁煙補助剤など
ドイツ	処方せん医薬品	薬局	薬剤師の常時配置(さらに管理薬剤師の常時対応も必要)	薬剤師による対面販売	-	-
	薬局販売医薬品			薬剤師又は薬剤師の監督下での薬剤助手の対面販売	副作用が少なく、安全性が確認されたもの	解熱鎮痛剤、鎮咳薬、かぜ薬、胃腸薬、皮膚治療薬、ビタミン・ミネラル、リウマチ薬、膀胱・利尿・性功能障害改善薬、鎮静・睡眠剤など
	自由販売医薬品	薬局・薬店 ドラッグリー	管理者(ドラッグスト)の常時対応 薬剤助手	規制なし	強壮、健康状態の改善等を目的としたもの	植物由来医薬品、ビタミン誘導体など
オーストラリア	処方せん医薬品	薬局	薬剤師の常時配置	薬剤師又は薬剤師の監督下での調剤助手による対面販売	以下の観点から分類 (1) 医薬品の毒性と安全性 (2) 医薬品の剤型、容量、包装量 (3) 医薬品が利用される目的 (4) 医薬品の乱用される可能性 等	-
	薬局薬剤師販売医薬品			薬剤師による対面販売		抗ヒスタミン薬、喘息薬、解熱鎮痛薬など
	薬局販売医薬品			薬剤師、調剤助手又は薬局助手による対面販売		解熱鎮痛薬、抗真菌薬など
	自由販売医薬品	一般小売店	-	-		ビタミン、ミネラル、ハーブや少量の解熱鎮痛薬など
日本	医療用医薬品	薬局	薬剤師の常時配置(また、処方せん数に応じた配置も必要)	薬剤師による対面販売	-	-
	一般用医薬品	薬局・薬店・配置販売	薬剤師又は薬種商の常時配置	薬剤師又は薬種商による対面販売	医療用医薬品以外の医薬品であり、一般の購入者が、薬局等で購入し、自らの判断で使用する医薬品	解熱鎮痛薬、鎮咳薬、かぜ薬、消化薬、外皮用薬、ビタミン主薬製剤、禁煙補助剤など
	医薬部外品	一般小売店	-	-	人体に対する作用が緩和なもの	薬用歯磨き、浴用剤、ビタミン含有保健剤など